

# 滋賀大学地域連携の窓口

## 『滋賀大学地域連携センター』を 設置

国立大学にとって、地域の歴史・文化・経済・産業と結びついた特色ある教育研究を展開し、地域の発展に貢献することは使命の一つであり、今後とも、その機能強化を図る必要があります。一方、各自治体においても、自己決定・自己責任の下、個性豊かな地域社会の形成や地域の課題解決に主体的に取り組むことが求められており、地元国立大学に対する自治体のニーズはこれまで以上に高まるものと想定されます。

本学では、地域貢献への組織的・総合的取組を推進するための組織として、十月一日、「滋賀大学地域連携センター」を彦根キャンパスにある陵水会館内に設けました。

同センターは、本学の地域貢献の推進を円滑に実施することを目的として、地方自治体等と



滋賀大学地域連携センターが設置され、銘板を掲げる  
左から宮本学長、小川地域連携センター長、轟本事務局長

の地域連携に関する業務を行い、「産業共同研究センター」「生涯学習教育研究センター」「教育学部附属環境教育湖沼実習センター」「教育学部附属教育実践総合センター」「経済学部附属史料館」と協力して、自治体等と滋賀大学との将来にわたる真のパートナーシップの確立を目指しています。

滋賀大学地域連携センター

TEL..0749 (27) 1279

FAX..0749 (27) 1431

## 滋賀県との地域連携協議会 を発足

近年、国立大学の組織的・継続的な地域貢献が重要視されていますが、こうした貢献は、地の意向を踏まえたものでなければなりません。そこで、地域の自治体との継続的かつ定期的な意見交換の場を設けることとし、滋賀大学と滋賀県との地域連携協議会を発足させ、第一回の協議会を八月十三日（火）に教育学部で開催しました。

大学側からは、法人化を控え、存在価値の発揮の観点から、一層地域社会との永続的なつながりが必要になることが強調され、また、滋賀県からは、県と大学の教育振興・地域振興に関する折衝が増えてきており、本協議会をきっかけに、緊密な取組を推進したいとされました。なお、この協議会は、今後も継続的に開催していくこととしています。

## 近江の散歩

### 「アユ溜り」

「アユ溜り」、私は小さい頃からこう呼んでいました。それは、琵琶湖のアユが河川をのぼってくるとき、その途中にあつてそれをじゃまする堰のことです。琵琶湖に流れ込んでいる河川には、その時期がくると決まってアユがのぼってくる河川があります。草津市の中心を通る草津川もその一つでした。しかし、古くは「砂川」と呼ばれて、雨が降り続けるとき以外、普段は全く水のない川です。

京都からJR琵琶湖線で彦根方面に向かうとき、車内放送で「間もなく草津です」と、案内が流れ、しばらくすると、短いトンネルをくぐって草津駅に到着します。このトンネルの上を流れるのが草津川です。江戸時代から草津を南北に分断する形で流れる天井川で、多くの教科書にも掲載され、全国に知られている草津のシンボルです。

子どものころ、雨が降り続けると私たちはわくわくしました。学校が終わるのが待ち遠しく、友だちとトンネル（草津川には、国道一号線、商店街そしてJRの三つのトンネルがあります）が、私たち子どもうちでは、トンネルと言えはJRのトンネルを指します）で会おうと約束して帰りました。草津川にはこのJRのトンネルまで「アユ溜り」はなく、アユをはじめいろいろな琵琶湖の魚が草津川をのぼってくるからです。魚はこのトンネルのところまでくると、落差が一、二メートルぐらいの五段ほどある堰で止められ、それ以上のぼることはできず、深みで、右往左往しているだけです。それを、網やザルですくいとります。ただ、ヨシノボリ（ゴリ）だけは、

# 報道された主な記事 (六月～九月)

## 六月

- \* 公開セミナー「古民家を生かしたコミュニティ形成」開催案内(毎日(6・7)他)
- \* 統合前提 正式会合へ 京教大と滋賀大教育学部 京滋四大学再編(京都(6・8))
- \* 統合合意 京都教育大と滋賀大教育学部(読売(6・8))
- \* 教え子に「すこい、ありがとう」ユース時代 小野、稲本指導 豊田一成教授(京都(6・10))
- \* 市民が悩みに答えます 子育て電話相談室 教育学部にオープン主婦ら20人参加(京都(6・13))
- \* 成績優秀者98人表彰 制度創設で経済学部(京都(6・22)他)
- \* モンゴルの環境教育支援 滋賀大にサークル教材開発へ(読売(6・22)他)
- \* マーケティング戦略フォーラム 「映像を中心としたJVCの国際マーケティング」開催案内(読売(6・27))
- \* 作業部会設け秋には具体化 統合前提に初の協議会 京教大と教育学部(京都(6・28))

## 七月

- \* 四国立大、統合めざす 県境超え規模追求(日経(7・2)他)
- \* 手を触れず相手投げ飛ばす 合図で名前が言えなくなる「気功講義」受講者びっくり(中日(7・2))
- \* 滋賀大の「七夕まつり」5日、学生が浴衣姿でPR(毎日(7・3)他)
- \* 統合視野に近く協議機関を設置 滋賀大など四大学(中日(7・4)他)
- \* 地域・留学生と七夕まつり交流 滋賀大・彦根で5日(朝日(7・4))
- \* 【計報】川崎 源氏(元滋賀大校長)(京都(7・6)他)
- \* 二〇〇三年入試要項(京都(7・10)他)
- \* 滋賀大学アジア経済フォーラム 19日に彦根で(京都(7・11)他)
- \* 滋賀大附属中に脅迫文10枚送付 容疑の男逮捕(京都(7・12)他)
- \* 滋賀大でオープンキャンパスを開催(京都(7・16))
- \* 「焦点!」大学が変わる国立大学再編」進行中の2つの大規模統合構想見えてこない具体像(朝日(7・18))
- \* 滋賀大教育学部、国へ存続要望四大統合で県が方針県議会(中日(7・25))

## 八月

- \* 大学運営の節目に関与 滋賀の記録・保存にも尽力した元滋賀大川崎 源さん(京都(8・1))
- \* 戦前から現在まで理科教科書づくり 附属図書館教育分館(京都(8・6))
- \* 知的障害児らの力作ずらり「あしあと・てあと展」附属養護学校(産経(8・14)他)
- \* 小笠原滋賀大教授に奨励賞 紫香楽宮跡調査に貢献 ハン六文化振興財団(京都(8・23)他)
- \* 「滋賀大で科学しよう」募集案内(中日(8・30))

## 九月

- \* 推薦入試の要項発表 帰国子女、社会人特別選抜も(読売(9・11))
- \* 公開講座「見て楽しく、知って得する心理学」受講生募集(中日(9・27))
- \* 統合問題など対応を報告 滋賀大で運営諮問会議(朝日(9・28)他)
- \* 中学生に化学実験指導 バスでDH A 解明 教育学部化学研究室(読売(9・28))

よちよちと石の上を這うようにのぼっていました。途中で私たちに行く手を止められ、恐らく上まで上り切ったものは皆無だったでしょう。その日の夕食のおかずには、私たちの獲物が並んだものです。

草津川の堤防(土手)には、明治時代から草津小学校の卒業記念として植樹された桜並木があり、格好の散歩道、ジョギングコースとして、また、琵琶湖岸までのサイクルロードもあって市民の癒し、憩いの場所となっています。しかし、このユニークな川もいったん大雨が降ると、「アユ溜り」どころではなくなり、住民をたたび洪水の危機にさらしてきました。このため、安全第一の新しい放水路に付け替えられることになりました。昭和四十六年からその実現に向けての取り組みが始まり、以来三十一年目の平成十四年六月十四日に草津川は琵琶湖から約六キロメートルの地点で新草津川に切り替えられました。古い草津川には、私たちの多くの思い出が残っていますが、この新草津川にも、「アユ溜り」ができて、多くの子どもたちの遊びの場として、また、兩岸は市民の憩いの場として、新しい草津のシンボルになってもらいたいものです。



J R 琵琶湖線津川トンネル

杉田 陸海 (教育学部教授)